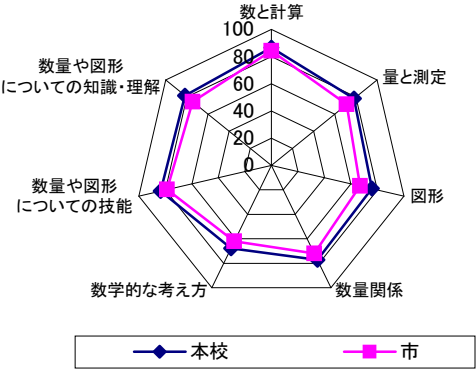


宇都宮市立西原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	86.5	84.3
	量と測定	78.2	71.3
	図形	75.8	66.7
	数量関係	77.2	72.1
観点別	数学的な考え方	67.8	62.0
	数量や図形についての技能	83.5	78.8
	数量や図形についての知識・理解	81.8	74.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・宇都宮市の平均正答率を上回っている。 ・分数の乗法・除法ともによくできていた。 ・文章問題においては、題意を正しく理解できずに、立式において誤答が見られた。	・今までの学習を継続し、さらに個に応じた指導を充実させていく。 ・文章問題においては、題意や立式の手順をを再確認するとともに、練習問題に数多く取り組むようにする。
量と測定	・宇都宮市の平均正答率を大きく上回っている。 ・面積や体積を求める問題はよくできていた。 ・時速が分かっている電車が6分間で進む距離を答える問題では、単位を変換せずにそのまま計算をする誤答が見られた。 ・時速を分速に直す問題では、立式はよくできていたが、単位の変換で誤答が見られた。	・日常生活の中で、速さを意識させるとともに、時速を分速に直すなど、単位を変換する問題に多く取り組む。
図形	・宇都宮市の平均正答率を大きく上回っている。 ・点対称の対応する点を求める問題は大変よくできていた。 ・正六角形の対称の軸の数を求める問題では、対称の軸を見落とす誤答が見られた。	・対称の軸の数を求める問題では、軸を実際に図形に書き込み、数を数えるように徹底する。
数量関係	・宇都宮市の平均正答率を大きく上回っている。 ・文字の式や比と比例の問題はよくできていた。 ・割合から本の冊数を求める問題では、割合をそのまま本の冊数と答える誤答が見られた。 ・友達の考えをキーワードを使って説明する問題では、妥当性のある説明ができない誤答が見られた。	・日常生活の中で、割合を使った場面を意識させるとともに、練習問題に数多く取り組む。 ・友達の考えを説明する機会を意図的に設けていく。